



NEWS ECO



TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681
URL <http://www.shibuya-p.com>

明けまして おめでとうございます

今年、平成27年の干支は乙未(きのとひつじ)。名古屋市北区辻町に“末年”の年は、普段の年に比べると数多くの初詣の人で賑わう、神社があるのをご存知でしょうか。その名は『羊神社』。賑わう理由が解るような気がする名前の神社ですネ……

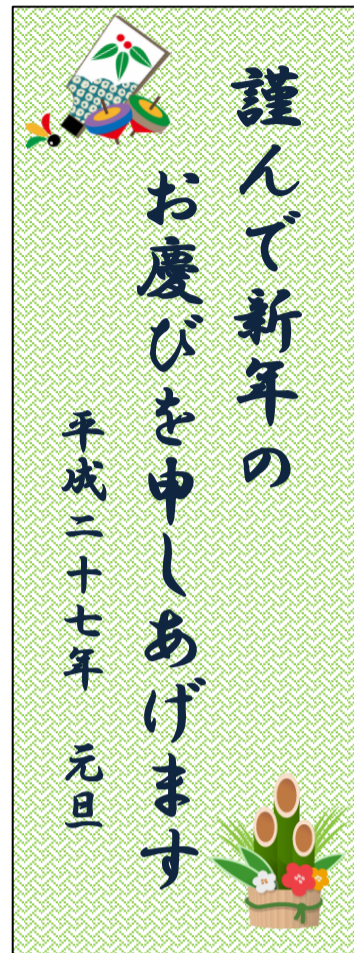


延喜式神名帳(延長5年・西暦927年・第61代醍醐天皇の御代に編纂された、全国の神社一覧)に、この神社は『従三位羊天神』と記されていることから、平安時代に創建され、棟札に慶長18年(1613年)8月5日とあることから、この年に再建されたことが解かります。

「天照大神」と「火之迦具土神」(ほのかぐつちのかみ)が祭られています。みなさんご存知のとおり、「天照大神」は日の神様、「火之迦具土神」は火災を防ぐ“火ぶせ”の神様です。

昔、所在地の町名は「火辻」で、『羊神社』の“ひつじ”が由来と言われていますが“火”の字をきらって“辻”だけになったといわれています。太平洋戦争のとき、この辻町一帯は、『羊神社』の御利益で、焼けずに済んだといわれています。

羊年に『従三位羊天神』にお参りに出かけてみてはいかがでしょうか。



《生物多様性》

地球上に息づく生命の世界

生物多様性条約締結国会議・COP10が2010年10月18日から29日にかけて名古屋で開催されたのをおぼえていますか。

このとき掲載された、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)の特集サイトを参考に生物多様性と環境について考えてみましょう。

地球上の生命、その中にはヒトも含めた多種類の動物、作物を含めた植物、大腸菌、さまざまなバクテリアまで、多様な姿の生物が含まれています。これらのどれを取ってみても、自分一人、ただ一種だけで生きていくことはできません。多くの生命は他のたくさんの生物と直接のかかわりの中で生きています。このかかわりをたどっていくと、地球上に生きている生きものたちが、全て直接に、そして間接的につながり合い、壮大な生命の環を織り成していることが分かります。この、生きものつながりを、私たちは「生物多様性」と呼んでいます。「生物多様性」とは、地球という一つの環境そのものであり、そこに息づく生命の全てを意味する言葉に他なりません。

長い地球の歴史の中で人類は、他の多くの生命と地球という世界を分かち合って生きています。そして、多くの恩恵を「資源」として、さまざまな生きものから得て暮らしています。

私たちが呼吸するためには、光合成をする植物が必要です。体内に大腸菌がいないと生きていけません。海や森からの恵み、清浄な水、土の力、安定した気候、全てが「生物多様性」の恩恵としてもたらされています。「人は生命が生み出す地球環境・衣食住によっ生活している」と言っても過言ではありません。

生物たちは、人間のためだけに存在しているわけではありません。それらの生命の多くは、人間の利害とは関係なく、この世界に生まれ、生存してきました。その歴史は、地球上に最初の生命が誕生した、40億年も昔に始まり、世代を重ね、進化の道のりをたどってきました。「生物多様性」とは、単に動植物の種類が多いということだけを意味するものではなく、この長い歴史と、その中で育まれてきた生きもの相互のつながりをも、指し示す言葉なのです。

今回は生物多様性と多様な地球の自然について考えてみます。

《最終評価・内部監査》

年度末で忙しい時期ですが、「年間改善活動計画書」「目標カード」の最終評価の提出をお願いします。

今年度の活動の最終評価と結果を踏まえ、来季への準備もしましょう。

①年間改善活動計画書 2月末提出期限

- i 改善効果が十分に認められた項目は効果が持続できるように努めてください
- ii 改善効果が不十分な項目は活動を見直し、達成に努めましょう

② 目標カード 2月末提出期限

- (成果・行動)
 - i 目標に対する成果と行動を自己評価し、評価基準に従って評価値を記入してください
 - ii コメント欄はより高い評価値を得るために何が不足していたか、好結果の要因は何かを考えて記入しましょう
 - iii 人事考課シートです。必ず上司と面接を行い、疑問を残さないようにしましょう
- (能力・情意)
 - i 評価に上司と差異があるときはその要因を明らかにし、来年度の参考にしましょう

《内部監査》 3月中旬予定

3月中旬に内部監査を実施します。監査日程の調整等のご協力をお願いします。

以前にもお伝えしましたが、今年度から内部監査は年1回となりました。主に、1年間の活動を監査しますので昨年度まで以上に成果を中心に監査することになります。行動の成果、効果を数値や具体的事象で示すように資料の作成、データ分析を行ってください。

内部監査の結果を踏まえ、4月には「マネジメントレビュー」を行い、新年度のスタートとなります。今年度の活動の成果と反省を参考にして4月からの計画をたて、「年間改善計画書」「目標カード」作成し5月に提出してください。